令和7年度都立南平高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「読むこと」、「書くこと」、「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認。 ・「読む」「書く」力を基本から身に付けさせるとともに、「話す・聞く」力を伸ばすために実践した内容を、教科会で報告・共有する。	・文章読解の問題に数多く触れさせる。 ・授業で読んだ文章についての意見文や感想を書かせる。 ・授業の中で「話し合」わせる指導の取り組みを教員間で共有する。
地理歴史	社会的事象を地理的・歴史的な視点から考察する力の養成	・年度当初の教科会において、年間計画や指導方法を報告・共有 ・授業や単元ごとに自分の考えを文章化して表現する取り組みの実施	・定期考査等における論述問題の出題 ・学習内容を整理し、まとめる内容のレポートの提出等を行う。 ・学期中の教科会で、各科目での取り組みなどを報告・共有
公民	主権者として、社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を図る力の養成	・年度当初の教科会において、年間計画や指導方法を報告・共有 ・授業や単元ごとに自分の考えを文章化して表現する取り組みの実施	・定期考査等における論述問題の出題 ・学習内容を整理し、まとめる内容のレポートの提出等を行う。 ・学期中の教科会で、各科目での取り組みなどを報告・共有
数学	・数学的に考える資質能力の育成	・事象を数学的に捉え、問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 ・数学的に考えた内容を表現できるような考査問題の作成	・問題解決の過程を振り返って考察を深める授業の実施
理科	「科学的に探究する」指導の充実	探究的な観察・実験を実施	高大接続教育の実施
保健体育	運動やスポーツの習慣化	・体力テストの分析。 ・授業の補強運動として、全学年共通で体カトレーニングを3年間継続して実施。 ・「エンジョイススポーツプロジェクト」実施。	・「エンジョイススポーツプロジェクト」を実施し、スポーツとさまざまな関わり方をすることで、楽しさや心地よさを味わい、実生活・実社会に生かす。
音楽	音楽的な見方考え方を働かせ意図をもって表現する活動	・表現分野(歌唱・器楽)の授業計画の見直しと教材開発 ・音楽的な見方考え方の土台となる基礎分野の教材開発	・歌唱、器楽のグループ発表の実施 ・創作の個人発表の実施
美術	感性を高め創造すること	・人に訴えかける文化祭ポスターを制作する。 ・形を正確にとらえることを狙いとして、鉛筆デッサンを行う。 ・石塑粘土を使用し、身近に存在する野菜や果物を制作する。 ・対比をテーマに写真撮影を試み、イメージを絵画化する。 ・人間にとって美術とは何か、その役割を美術史から学習する。	・デザインが人間に訴えかける、本質について理解を深める。 ・石塑粘土にアクリル絵具で着色し、質感を表現する。 ・色彩の持つ性格を色相、明度、彩度等から認識し、確認する。 ・美術史を通じて、美術が宗教や生活とどのように関わってきたのかについて学習する。
書道	書写での学習を基盤にしての書に挑む活動をする。	・「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の三分野を学ぶための教材開発。 ・様々な古典・名筆の美に触れ自己表現に生かす工夫のための教材開発。	・「臨書」や「鑑賞」の学習の実施 ○書の表現に自分らしさを出す取り組み
英語	「四技能」を伸ばすことの指導の充実	「四技能」を伸ばすための授業を実施	4技能を伸ばすために長期休業を利用して特別講習を実施する。英語検定受験の取り組みを援助する。
家庭基礎	自立した生活の中で、社会問題を解決できるような視点を持つ。自分だけでなく、家族や職場、友人、地域の中で思いやりを持ち、自分が何かをしなければならぬと自覚を持つ事ができる。社会問題を把握し、問題解決のため自覚と責任を持ちリーダーとして行動できる。	衣食住の生活を中心として、生活設計、高齢社会を生きる中で年金や介護保険、どんな家族を作りたいか、子どもの生活について、消費行動から環境問題まで基本的な内容を把握し、知識を深めたものを活用でき、応用できる力を身に付ける。	生活していく中で出てきた問題に対して思考力をもって解決ができる。よりよく生活するために調べたり考えたりして、実践して解決できる能力を身に付ける。他者と共有でき、さらに応用的に活用する能力を身に付ける。
情報	「課題解決」につなげる実習の充実	・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定 ・グループワークを多く取り入れ、協働して課題解決できるように実習を実施	・得意な生徒のために、発展的な課題を用意 ・授業で学習した内容を行事や他教科で応用できるように指導